

なんケア通信

第49回 南部圏域の地域包括ケアを考える会(なんケアの会)を開催しました

開催日時：令和7年8月1日(金) 18:00~19:00

会 場：南部市民サービスセンター「なんぴあ」 2階 地域文化ホール

参 加 者：32名(医療関係者8名、介護支援事業所関係者21名、調剤薬局1名
福祉用具専門相談員等2名)

『認知症高齢者 その人らしさを支える』 ～グループホームについて～

演 題

①「グループホームは何故 認知症高齢者に適しているのか」

御野場病院 皆河 崇志 理事長

②「認知症を持っていても一人の人 ～グループホーム・つばき大住の取り組み～」

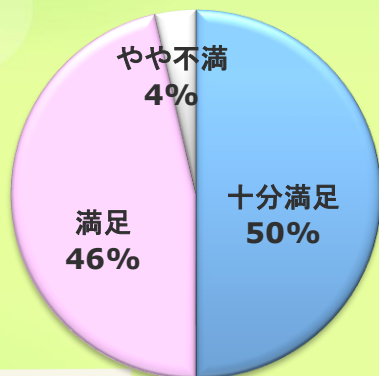
グループホームつばき大住 管理者 筒井 綾子様

グループホームは認知症ケア専門スタッフがあり、少数の認知症高齢者が共同生活を送る場です。小規模なスペースで少数の入居者と暮らすことで「習慣による記憶」が機能する環境が整えられており、「情動記憶」が残らないような配慮がされています。この「二つの記憶」が認知症高齢者のグループホームでの生活を支えていると考えられています。グループホーム・つばき大住では、パーソン・センタード・ケアを大切にして日々のケアを実践し、医療との連携を行っております。講演では実際の入居者の生活の様子や、看取り介護事例などをお話していただきました。認知症を持っていても一人の人として尊重され、安心して暮らすことができるグループホーム、超高齢化社会の現代は需要が増しそうですね。貴重なご講演ありがとうございました。

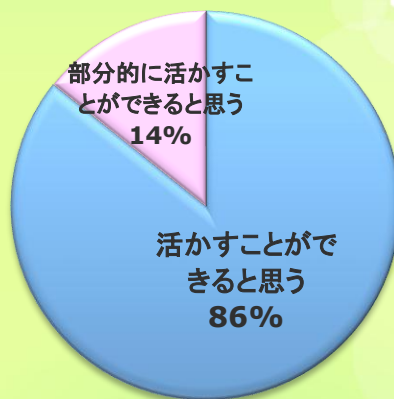
アンケート 結果

回収率：87.5%(アンケート配布：32名、回収：28名)

1.なんケアの会に参加して
いかがでしたか？



2.今後、地域での活動に活かす
ことができそうですか？



皆様からの ご意見・ご感想

グループホームでの実際の生活の様子や看取りの事例について、詳しくお話いただきとても良かったです。利用者さんがニコニコして過ごしている様子がとてもステキだなと思いました。

(地域包括支援センター)

とても分かりやすいご説明で、写真も見せていただくことができ、充実した時間を過ごさせていただきました。とても参考になり学びが多かったです。

(介護支援事業所関係者)

とても勉強になりました。グループホームつばき大住さんの取り組みは素晴らしいと感じました。

(医療機関関係者)

会場の様子

講師の皆河理事長



講師の
筒井様



次回開催の お知らせ

開催日時：令和7年10月3日(金) 18:00~19:15

会 場：南部市民サービスセンター「なんぴあ」